

JCI 認定病院



埼玉医科大学のミッション

August 2021

51号

<https://www.international.saitama-med.ac.jp/>

埼玉医科大学

国際医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY INTERNATIONAL MEDICAL CENTER NEWS



CONTENTS

2P 診療科の紹介：消化器内科（消化器内視鏡科）

3P 診療科の紹介：がんゲノム医療科

4P 救急看護認定看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師：看護部

5P 病院と保険調剤薬局との抗がん剤副作用対策の連携について：薬剤部

6P CT 検査による被ばく低減と適切な画像を求めて：中央放射線部

7P 相談室をご利用ください：患者支援センター医療福祉相談室・がん相談支援センター

8P がんのリハビリテーションとは その4[維持的・緩和的リハビリテーション]リハビリテーションセンター

9P きな粉の栄養とうれしい効果：栄養部

10P 私の時間：日高市の自然 なぜ、私が医療者を目指したのか

11P 埼玉 SMART 参集訓練について：DMAT

当院は 2015 年 2 月 7 日に大学病院としては日本ではじめて JCI（国際病院評価機構）の認定を受けました
埼玉医科大学のミッション～ Your HAPPINESS Is Our HAPPINESS ～あなたの幸せが私達の幸せです

消化器とは、摂取した食べ物の移動、消化、栄養素の吸収・貯留、排泄に関わる臓器群の総称です。食道、胃、小腸、大腸や胆のう、膵臓、肝臓などに分類され、各々に良性の病気と悪性の病気が存在します。消化器内科（内視鏡科）では、食道がん、胃がん、大腸がん、胆石、黄疸（おうだん）、胆道（たんだう）がん、膵炎、膵がんに対する精密検査、内視鏡を用いた治療を行っています。

食道、胃、小腸、大腸



写真1
「超音波内視鏡」針で“がん”が疑われる領域の一部を採取することも可能

食道、胃、小腸、大腸などに“がん”が疑われる患者さんが来院されると、内視鏡検査やCTなどの精密検査を行います。内視鏡検査では特別な光を用いた診断（特殊光観察）や病変を拡大して観察する診断（拡大内視鏡観察）を行います。検診のときにお腹を検査するエコーという機器を非常に小さくしたものを内視鏡の先端に付けた超音波内視鏡（EUS）と呼ばれる内

視鏡機器（写真1）を用いた詳しい検査を行うこともあります。精密検査の結果から、内視鏡治療が良いと判断された場合には当科で治療を行います。食道、胃、大腸の早期がんは内視鏡で治療を行うことが可能な場合が多く、内視鏡的粘膜下層剥離術（ないしきょうてきねんまくかそうはくりじゅつ：ESD）（写真2）あるいは内視鏡的粘膜切除術（ないしきょうてきねんまくせつじょじゅつ：EMR）と呼ばれる治療が行われます。この治療では、お腹を開けずに内視鏡を使って食道や胃、大腸の壁だけをはがす治療となりますので、通常1週間以内に退院できます。

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD） がんを切らずに治す内視鏡治療

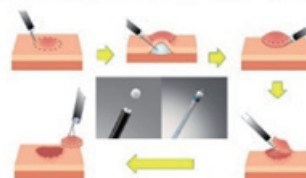


写真2
「内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）」お腹を開けずに内視鏡を使って食道や胃、大腸の壁だけをはがす治療

胆石、黄疸、胆道がん、膵炎、膵がん

胆道は胆のうと胆管（たんかん）に分けられます。胆のうと膵臓では、食べ物を消化するための胆汁（たんじゅう）や膵液（すいえき）という消化液を作って腸の中に流しています。胆道や膵臓の病気が疑われる患者さんが来院されると、エコー、CT、MRIなどの精密検査を行います。さらに詳しい検査が必要な場合には、内視鏡を使ったERCPという検査、超音波内視鏡を使った検査を行います。近年では、超音波内視鏡（写真1）を使って胃や十二指腸から針を刺して“がん”が疑われる領域の細胞を採取する検査（EUS-FNA）で膵がん診断を行うことが可能です。胆石や黄疸に対して内視鏡を使った治療が良いと判断された場合にはERCP検査を用いて内視鏡による治療を行います。

国際的な評判

当科における内視鏡診断と治療は国際的に高く評価されており、技術指導や見学者受け入れを積極的に行っています。国内外のトップレベルの施設で行われている治療・検査のほとんどが施行可能で、世界でも有数の施設として評価されています。



写真3 「消化器内科（内視鏡科）医師一同」

がんゲノム医療とは

ひとりひとりの患者さんの「がん細胞」の中でおこっている、がんに関係する遺伝子の変化を「がん遺伝子パネル検査」によって調べ、その結果から、どのような性質のがんなのか、どのような治療法が適しているのかを選択していくのが、がんゲノム医療です（図1）。

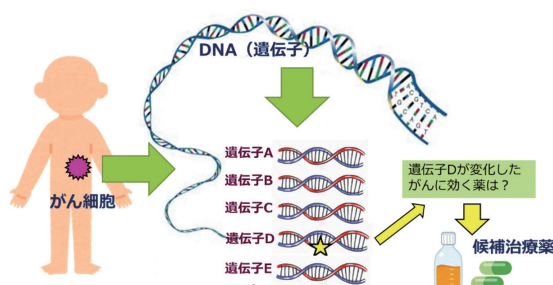


図1 がんゲノム医療とは

埼玉医科大学国際医療センターにおけるがんゲノム医療への取り組みについて

当院は2018年4月にがんゲノム医療センターを設立し、同年厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」に、2019年9月には「がんゲノム医療拠点病院」に指定されました。現在、保険診療で行う2つのがん遺伝子パネル検査、および自由診療の検査（表1参照）を導入しており、がんゲノム医療中核拠点病院である国立がん研究センター中央病院、慶應大学病院、連携病院である埼玉医科大学総合医療センターとの協力体制のもとに、保険診療の検査では、がん遺伝子パネル検査の検査結果から最適な治療法を検討する多職種のカンファレンス（エキスパートパネル）を開催しています（写真1・写真2）。

当院では、2020年12月までに、128名の患者さんのがん遺伝子パネル検査を実施し、連携病院の症例も含めて144症例についてのエキスパートパネルを開催しました。そのうち、約2割の患者さんに検査結果にもとづく治療薬の候補が提示され、およそ1割の患者さんが実際の治療に進むことができました（他院への紹介を含む）。



写真1 エキスパートパネル開催時



写真2 COVID-19感染対策によりweb上でのカンファレンスを活用

遺伝性腫瘍外来について

がん遺伝子パネル検査によって、「遺伝性腫瘍」が疑われる場合があります。遺伝性腫瘍とは、生まれつきもっている遺伝子の違いが原因で、特定のがんになりやすい体質を持つことで、次の世代に受け継がれる可能性があります。当院の遺伝性腫瘍外来では、このような場合を含めて、「がんと遺伝」に関する情報提供や、診断のための遺伝学的検査、遺伝カウンセリングを行うことができます。

表1 当院で実施可能ながん遺伝子パネル検査（2021年4月現在）

検査の種類	概要	区分	費用 (保険点数)
OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム	国立がん研究センターが開発、がん関連の114遺伝子(12の遺伝子融合を含む)を解析	保険診療	56,000点※
Foundation One® CDxがんゲノムプロファイル	米国ファウンデーションメディシン社が開発、がん関連の324遺伝子(36の遺伝子融合を含む)を解析	保険診療	56,000点※
PleSSision検査	慶應大学病院の検査、がん関連の遺伝子160遺伝子を解析	自由診療	約45万円 (税別)
PleSSision エクソーム検査	慶應大学病院の検査、全ての遺伝子(約2万遺伝子)を解析 ※結果を返却するのはがんに関連する遺伝子のみ	自由診療	約90万円 (税別)

※約17万円/3割負担の場合。



救急看護認定看護師

看護部

救命 ICU 病棟 四宮 愛弓

救急看護認定看護師の資格を取得しました

私は救命救急センターの集中治療室（ICU）で勤務しています。当部署は、突然のケガや病気で重症と判断された患者さんが入院する病棟です。患者さん自身の生きる力を支え、辛い闘病生活の中でも希望を見いだせるように、入院生活をお手伝いすることが私たち看護師の一つの役目です。ICUで治療を受けていた重症の患者さんが、ご自身の足で自宅へ帰る姿を見ると、この仕事で本当に良かったと思えます。

私は、今後も救急医療に関わっていきたい思いから救急看護認定看護師の資格を取得しました。この資格は、救急医療現場に限らずあらゆる状況下においても、迅速で確実な救命技術の実践を行うことを役割としています。また、医療従事者をはじめ地域市民の方々へも救命救急医療・看護にかかわる知識・技術の普及・向上を図ることも求められて

います。

今回この資格を取得したことにより、教育者として関わらせていただけることとなりました。院内スタッフに対して教育を行い、みなさまがより安心して救急医療を受けられるよう環境を整えます。



摂食・嚥下障害看護認定看護師

看護部

A 棟6階病棟 島田 千尋

認定看護師としての抱負～最期まで口から食べる楽しみを～

摂食・嚥下障害看護認定看護師には、患者さんの食べることを支えていく役割があります。

病気や治療、加齢など、様々な要因で口から食べられなくなってしまった患者さんに、嚥下機能評価やリハビリテーションの実施、適切な食事形態や姿勢の調整、口腔内の衛生環境の改善を行います。そのような食べること、飲み込むことに関し、実践・指導・相談を行いながら、もう一度食べる喜びを取り戻せるように介入していきます。また食べることによって誤嚥性肺炎や窒息などの弊害を生じることもあるため安全に食べられるよう予防します。

食べることは生命維持だけではなく免疫能を高めます。また、周囲の人と楽しく食べることは喜びや生きる活力になり、楽しい思い出やその時が

積み重なり、人生そのものになると思います。

認定を受け日が浅いですが、患者さんの食べたい思いに寄り添い、多職種と共同し、入院早期から安全に食べる喜びを得られるよう支援していきたいと考えています。



病院と保険調剤薬局でのお薬の確認

皆さんは薬剤師にどのようなイメージをお持ちでしょうか？最近では、薬剤師が主人公のドラマなどもあり、少し身近な存在となったでしょうか？薬剤師は病院、保険調剤薬局のそれぞれの医療機関で働き、お薬の確認をしています。皆さんが『病院や診療所』で診察を受けた場合、医師が院外処方せんを発行し、『保険調剤薬局』で薬剤師がお薬を調剤します。それぞれの医療機関で薬剤師がお薬を確認することで、安全性を確保しています。さらに、保険調剤薬局では、お薬手帳を利用して、様々な医療機関のお薬の飲み合わせの確認を行っています。

病院でお渡しする『外来化学療法に関する情報提供書』

当院では、点滴の抗がん剤の治療内容や副作用をまとめ、病院薬剤師が『外来化学療法に関する情報提供書』を作成し、患者さんへお渡ししています。それを保険調剤薬局に持っていくことで、点滴の抗がん剤の情報が伝わり、保険調剤薬局の薬剤師がより安全にお薬の確認を行います。ご希望がある場合、点滴の抗がん剤治療をしている患者さんにお渡ししていますので、お近くのスタッフにお声掛けください。

保険調剤薬局から病院への連携

『外来化学療法に関する情報提供書』を受けた保険調剤薬局の薬剤師は、お薬の副作用が強かった場合など、状況に応じて『服薬情報提供書（トレーシングレポート）』を使って病院へ報告します。報告を受けた病院薬剤師は、内容を確認して医師へ報告します。また、看護師やその他のスタッフと連携し、患者さんのご希望や副作用に対応します。緊急の場合、電話で病院薬剤師と保険調剤薬局薬剤師がお互いに連絡を取り合っています。当院では、この連携を積極的に行っています（図1）。

この様な一連の取り組みで、お薬による副作用が少しでも軽くなるよう努めています。お薬でお困りの方は薬剤師にご相談ください。

外来化学療法に関する情報提供書

氏名	ID	性別
年齢	生年月日	
診療科		
主治医		
病院薬剤師名	連絡先	
レジメンについて（実施状況、投与量、身長体重等）		
主な副作用の発現状況等		
報告・伝言内容		
その他		
患者さんへ 書面に関連する医療機関へ提示をお願いします 血液・生化学的検査値に関連する医療機関へ提示をお願いします		

埼玉医科大学国際医療センター

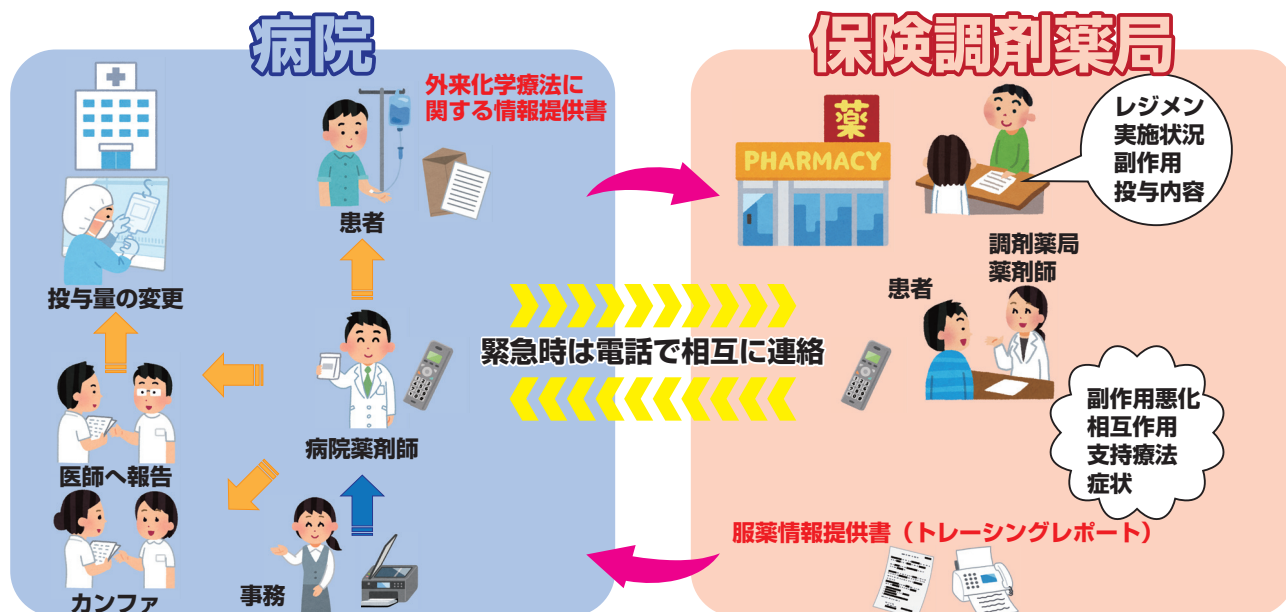


図1：病院と保険調剤薬局の連携図



近年は、X線CT装置の技術の発達により、多列化・高速化が進むに伴い、X線による被ばくの低減が注目されています。

CT検査での被ばくの基準として診断参考レベル(DRL)といわれる、各医療機関の基準値(CT検査での撮影部位における被ばく量の基準)が医療被ばく情報ネットワーク(J-RIME)より発表され、当院でもより少ない被ばく量で検査を行うべく、日々検討しています。また、成人に比べて被ばくに敏感な小児のCT検査では、画質を考慮しつつ、少ないX線量で診断に有用な画像が提供できるよう慎重に撮影を行っています。

CT装置では、逐次近似法と言う演算によって輪切りのCT画像が作られています。画像を作る際に生じるノイズ成分(画像に不要な信号)を低減する演算技術を組み込むことで、従来画像と同等の画像を、より少ないX線量で得る事ができます。図1は、左が従来画像、右が逐次近似応用再構成法を用いた画像です。右側の画像ではノイズ成分が減少し、鮮明に見えることがわかります。

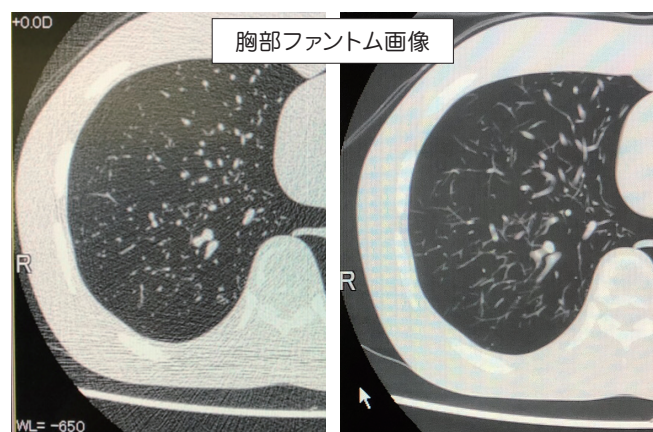


図1 左：従来画像 右：逐次近似応用再構成法

CT画像は、X線量を多くすると被ばくは増えますがノイズ成分が減り、鮮明な画像が出来ます。反対に、X線量を減らせば被ばくは少なくなりますが、相対的にノイズ成分が増える為、診断に適した画像が得られない可能性がでてきます。しかし、逐次近似応用再構成法を使用することで、より少ないX線量で適正な画像を得られ、被ばくの低減にも繋がります。

この技術は整形領域の撮影でも使われています。骨折などの手術により、体内に金属が入っているとCT画像上に金属アーチファクトが出現します。このアーチファクトは、埋め込まれている金属がX線を吸収する(透過しない)為に起こる金属の周辺が暗くなる現象で、歯の充填物等でも同様のアーチファクトが出現します。

X線を多く照射することで、ノイズ成分や金属アーチファクトを減らす事はできますが、完全に

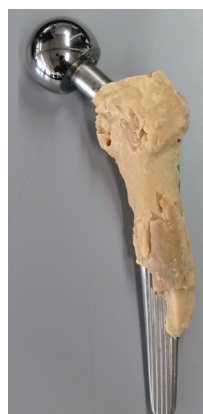


図2
人工骨頭ファントム

消す事はできず過剰にX線が照射される為、被ばく量が増えてしまいます。しかし近年では、金属アーチファクトを低減する技術が発展し、金属周辺の診断が可能になってきました。当院では、Canon社製CTに搭載されるSEMAR(Single Energy Metal Artifact Reduction)という技術を使用し、通常のX線量でありながら、金属アーチファクトを低減した画像を提供しています。

図3は、人工骨頭の模型(図2)撮影した画像で、左が従来の再構成を行った画像で、右がSEMARを施した画像です。従来の再構成ではアーチファクトによりファントム周辺が黒くなっているところが、SEMARを施すことでファントムの輪郭が鮮明に見えていることがわかります。

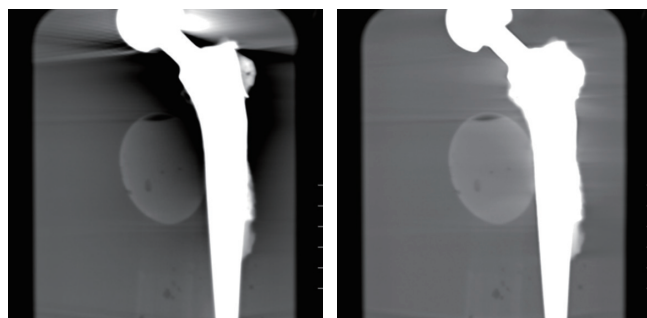


図3 左：従来画像 右：SEMAR

当院では、この技術を積極的に取り入れており、出来る限り患者さんの被ばく低減を図りつつ、適切な画像を提供しています。

相談室をご利用ください

患者支援センター医療福祉相談室、がん相談支援センター

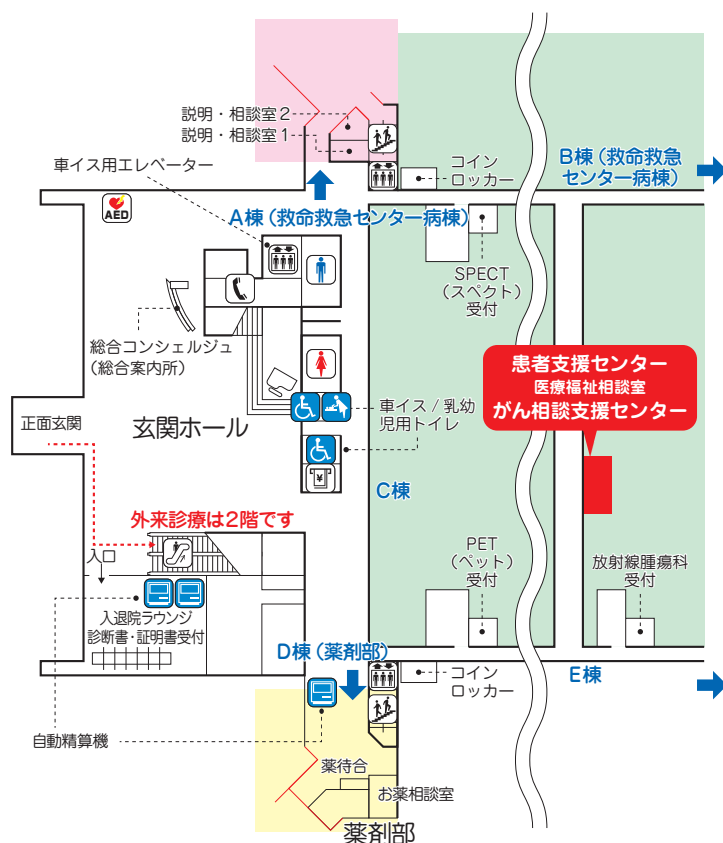
ソーシャルワーカー 田村 順子

当院には患者さんやご家族からの相談をお受けする窓口として「患者支援センター医療福祉相談室」と「がん相談支援センター」（以下、「相談室」）があります。この2つの窓口は同じ部屋にあり、ソーシャルワーカー5名、看護師3名でご相談をお受けしています。また当院入院中の患者さんの退院に関するご相談は、各病棟の退院支援看護師がお受けしています。各窓口の対応内容は下表をご参照ください。

「相談室」では退院支援看護師をはじめ他職種や他機関と協働しながら、患者さんやご家族が安心して治療を継続できるよう努めていますので、お気軽にご相談ください。

窓口（部署）		対応内容	
患者支援センター	退院支援看護師 連絡先：各病棟※	当院入院中の患者さんの退院に関するご相談	
	医療福祉相談室 TEL：042-984-4106	当院の救命救急センター、脳卒中センター、心臓病センターにおかかりの患者さんやご家族	たとえば ・医療費や生活費について ・社会福祉制度について ・仕事や学校について
がん相談支援センター TEL：042-984-4329		当院がんセンターにおかかりの患者さんやご家族、おかかりでない患者さんやご家族、地域の関係機関	・緩和治療やセカンドオピニオンについて ・今後の療養先や生活の心配など

※各病棟の連絡先がご不明な場合は、入院時にお配りしている病院案内（2021年2月発行P43）の冊子をご覧ください。相談室へお問い合わせください。



患者支援センター医療福祉相談室

TEL：042-984-4106（直通）

がん相談支援センター

TEL：042-984-4329（直通）

相談受付時間

月曜日～土曜日（祝日を除く）

8：30～17：00

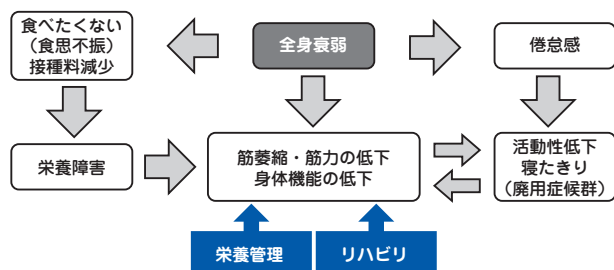
相談は原則予約制ですが、お急ぎの方はお近くの職員へお声掛けください。



がん治療中ながんの再発や転移が認められたり、がんによる身体的な不調に加え、治療の副作用が強くなり積極的な治療が受けられない場合があります。このような時期にリハビリテーションを行う意義があるか疑問に思われるかもしれません。しかし、無理なく自分の力で日常生活を送るために、**維持的・緩和的リハビリテーション**が重要であると言われています。

【維持的リハビリテーション】

がんの再発や転移によりがん治療が継続して行われ、その**副作用**や**がん悪液質**が続くことで徐々に**全身の衰弱**が進む場合があります。その症状として、倦怠感や食欲不振などが出現、更に**栄養障害**に進行し、活動性低下や**寝たきり**状態を引き起こしてしまいます。これが原因で筋肉は衰え、身体機能は低下し、日常的に行っていた生活が困難になってしまいます。



《全身衰弱と栄養管理・リハビリテーションの関係》

身体機能の改善を目的にリハビリを行っても、体調が整わずリハビリが継続して行えない場合に十分な機能の改善が図れない事があります。このような状態にならないためには、身体に無理なく適度な運動を毎日少しずつ続けることで、「機能維持」を目指したリハビリが必要です。**維持的なリハビリテーション**は、積極的に運動を行い「機能の向上や改善」を目指すより、身体に無理なく継続できる運動を行い「**身体機能の維持や低下予防**」を目的としています。

また、動作時にふらついてしまい転倒の危険性があると、自宅での生活に不安を感じる事も多くなります。ふらつきを運動で改善しようとするのと長い時間を要する場合がありますので、補助具の

使用や自宅での日常生活指導を行います。具体的には、杖や装具などの使い方を指導し、安心して立つ・歩くなどの動作ができるようにします。補助具の使用だけでなく、自宅に帰った場合のセルフケアのコツや注意点などリハビリテーションを行いながら指導していきます。運動だけでなく補助具や環境整備など様々な代替手段も含め、現状の体調や身体機能で可能な日常生活動作の獲得を目指します。

【緩和的リハビリテーション】

がんの治療が遷延し積極的な治療が困難な時期が訪れてしまう場合もありますが、この時期は治療の副作用やがんの進行により様々な症状が起こります。代表的な症状としては**疼痛**、**呼吸困難感**や**倦怠感**などがあり、がん患者さんの7～9割は以下の表の様な何らかの「**痛み**」を経験し、日常生活の低下を招く原因となってしまいます。

①がんによる痛み	・腫瘍の増大や浸潤、転移などによる痛み
②がん治療による痛み	・術後の創部痛や手術痕の慢性疼痛 ・化学療法による神経障害・口内炎などによる痛み ・放射線治療法による皮膚炎などによる痛みなど
③がん・がん治療と直接関係のない痛み	・長期臥床に伴う背骨部痛、褥瘡などによる痛み ・带状疱疹、蜂窩織炎などによる痛み ・変形性股関節症などの痛みなど

《がん患者に見られる痛みの分類》理学療法 M00K21 がんの理学療法参照

また、痛み以外にも様々な症状が出現するため、薬物療法を中心に症状の軽減が行われますが、リハビリテーションの手段も症状の緩和につながります。様々な症状を緩和し少しでも患者さんの苦痛を軽減できれば、日常生活動作能力の向上が期待できます。痛みの他に「**呼吸困難感**」や「**がん関連倦怠感**」なども発生することが多く、これらも意欲の低下や活動量の低下を引き起こし日常生活に大きな影響を与えます。**緩和的リハビリテーション**は緩和期に発生する色々な問題に対し、患者さんとその家族の要望を十分把握したうえで、疼痛の緩和、日常生活動作の維持や改善、呼吸状態の安定を図り、**できる限り可能な最高の日常生活動作を実現**することを目指して行います。

和菓子に欠かせない食材であるきな粉は、誰しも一度は口にしたことがある身近な食べ物ではないでしょうか。

今回はきな粉の栄養に着目してみました。

●大豆の加工品、きな粉

きな粉は、大豆を炒って粉にしたものであり、香ばしさと大豆本来のやさしい甘さを持ちます。原材料の豆の種類によって、大きく3種類に分けられ、通常の大豆を挽いたものが一般的な「きな粉」、青大豆を挽いたものは「うぐいす粉」、黒大豆では「黒豆きな粉」と呼ばれます。

その歴史は古く、奈良時代には既に使用されていましたが、長い間上流階級で楽しまれており、庶民に広まったのは、お菓子作りが盛んになった江戸時代で、埼玉の銘菓「五家宝」もこの頃に生まれました¹⁾。



●きな粉の栄養素

畑のお肉とも呼ばれる大豆を原材料とするきな粉は、成分の約40%がたんぱく質です。このほかにも、食物繊維・鉄が多く、大豆オリゴ糖やイソフラボンなど体に嬉しい成分が含まれる栄養価の高い食品です。

▼小麦粉と比較したきな粉の栄養成分²⁾

	きな粉 大さじ1杯(7g)	小麦粉 薄力粉(7g)
エネルギー(kcal)	31	25.7
たんぱく質(g)	2.49	0.65
脂質(g)	1.64	0.13
食物繊維(g)	1.18	0.18
鉄分(mg)	0.56	0.06

▼きな粉の特徴的な栄養素

大豆オリゴ糖

きな粉の甘味の素。砂糖の7割ほどの甘味がありますが、エネルギーは半分程度であり、吸収がゆるやかな糖分です³⁾。
オリゴ糖は腸内細菌のエサになることで腸内環境を整えることに期待ができます。

イソフラボン

女性ホルモンのエストロゲンと似た働きをする成分で、更年期障害、骨粗しょう症予防等の効果があります。
また抗酸化作用を持つ物質でもあり、老化の原因とも言われる活性酸素から体を守ります。

●きな粉を手軽に取り入れてみよう

きな粉は不溶性食物繊維・オリゴ糖を含み、食べ過ぎるとお腹を壊しやすいため、「一日の適量は大きじ2杯程度」とされています⁴⁾。日常的に食べるものにプラスしてみてもいいのではないでしょうか。

〈きな粉牛乳〉 (1人前)

牛乳	200ml
きな粉	大さじ1杯程度



・材料を混ぜるだけ。きな粉が溶けにくい時には、先にきな粉を入れて、少しの牛乳で伸ばしてから溶くと混ぜやすいです。



ヨーグルトに混ぜるのも相性が良いです。

〈きな粉ホットケーキ〉 (2枚分)

ホットケーキミックス	150g
きな粉	大さじ3杯程度
砂糖	大さじ1杯
たまご	1個
牛乳	130ml程度

・材料を混ぜるときにきな粉をプラスしてみましょう。ホットケーキミックス50gにきな粉大さじ1杯が目安です。



*ひと手間加えて

〈きな粉ペースト〉 (トースト2枚分)

きな粉	大さじ2杯程度
はちみつ(または砂糖)	小さじ2杯
水または牛乳	大さじ1杯
塩	極少々

・胡麻ペーストを足すと香ばしさができます。
糖質が気になる人は、はちみつ(砂糖)をオリゴ糖液へ。ビスケットやクラッカーに塗っても美味しいです。

参考資料

- 熊谷市 HP 五家宝
<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kanko/meibutsu/gokabo.html>
(2021/1/16 15:00)
- 日本食品標準成分表 2015 年版(七訂)
- 調味料の百科事典
<https://kireinasekai.net/kinako-koukakounou/>
(2021/1/16 16:00)
- 小川産業家株式会社 きな粉について
<https://tsubumaru.jp/business/kinako/>
(2021/1/16 16:00)



私の時間

日高市の自然

消化器内科 (消化器内視鏡科)

助教 勝田 景統

2020 年度より埼玉医科大学国際医療センターに赴任しており、消化器内科では胆膵内視鏡診療に従事しています。着任にあたり東京から家族で引っ越してきました。もともとの趣味は映画鑑賞でしたが、COVID-19 の影響もありなかなか映画館に行きづらい状況で、休日の過ごし方を変えることにしました。こちらに引っ越してきて特筆すべきことは、やはり自然の豊かさだと思います。自然のあふれる公園が沢山ありますし、紅葉や星空など四季の移り変わり都内よりもより感じられます。子供もまだ小さいので、自然の中で遊ぶことはのびのびとした貴重な経験となっているようです。休日は感染対策をしっかりと、家族で近隣の自然公園を散歩することでリフレッシュして、仕事に臨んでいます。昨年は感染の影響で日高市の巾着田曼珠沙華まつりは残念ながら中止となっていました。今年は感染の収束とともに参加

できるようになることを願っています。



日高市巾着田



なぜ、私が医療職を目指したのか

私も誰かのために

看護部

2017 年入職 A 棟 5 階病棟 戸塚 真美

私の祖父は元々消防士として働いていました。引退後も率先して人のため、町のために働く人でした。人と人との繋がりを大切に、誰かのために働くその姿は私にとってはすごく印象深く、私も誰かのために働きたいと思ったのが看護師を目指すきっかけでした。

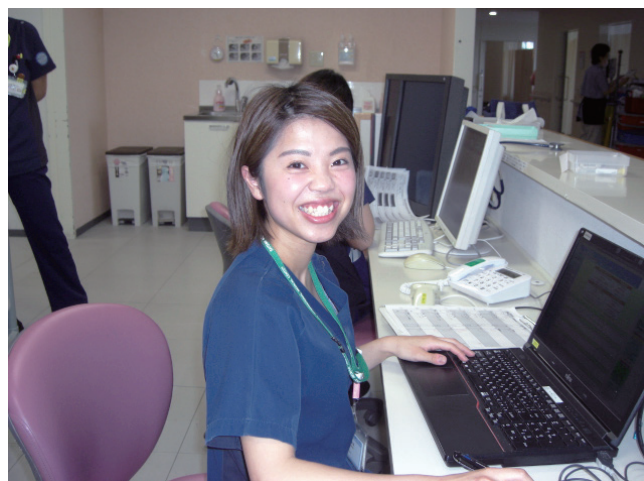
看護学生の時、不安を抱える患者様の気持ちに寄り添い、傾聴することの大切さを学び、私も患者様の気持ちに寄り添える看護師になりたいと思うようになりました。

現在、心臓病センターで勤務しています。疾患の特徴として入退院を繰り返す患者様も多く、同じ疾患でも社会的背景や退院後の生活など個々に抱く不安は違います。再入院をしないためにも疾患に対する教育指導をしっかりと行っていくことも私たちの大切な役割であると思います。

以前、患者様に「毎日元気でいいね。こっちま

で元気が出るよ。病気を忘れちゃう」と声をかけていただいたことがあります。

そんな患者様に少しでも元気に、また寄り添い、より良い療養環境を提供していけるよう、日々精進していきたいと思っています。





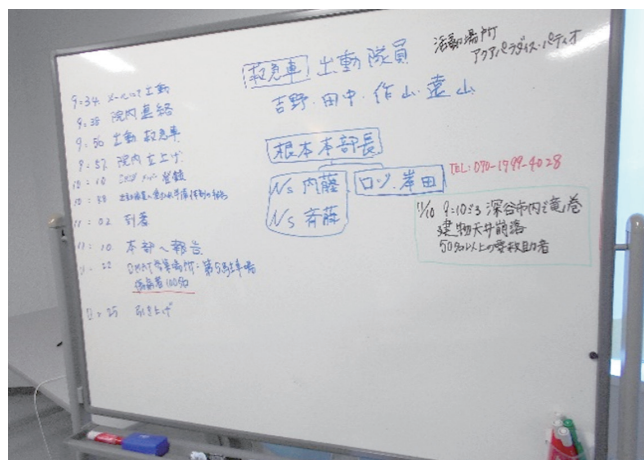
2020年11月12日に埼玉 SMART の参集訓練がありました。本訓練は初の完全ブラインド型訓練でした。ブラインド型訓練とは、訓練実施者に事前に訓練の進行やシナリオを与えず、想定のみ与える実践的な訓練をさし、今回は訓練日程までも完全ブラインドの訓練でした。想定内容は「深谷市内で竜巻による建物の天井崩落により、多数（50名以上）の要救助者が発生」とのことで深谷市まで参集するという訓練でした。

当院の隊員は、参集の指示を DMAT の業務調整員からもらい、所属長と業務調整を行った結果出動できるか判断し、可能な隊員が出動する体制となっています。今回は4名の隊員が病院救急車で参集現場まで出動し、3名の隊員が院内災害対策本部を仮想で立ち上げて情報収集を行いました。出動途上で再度情報が入り、傷病者数は100名程度と大規模災害が発生していると予想されました。当院では、重症患者（赤）5名、中等症患者（黄）5名を收容するよう指示が入り、院内災害対策本部の隊員がベッドの調整を行いました。出動体制を整え、迅速な隊員の集合と院内での調整ができた結果、参集現場には最先着することができ、現場指揮本部へ報告および引継ぎを行えました。

今回、ブラインド型の参集訓練を行った結果、何点が課題を見つけることができました。災害はいつ・どんな場所で発生するかはわかりません。いつでも迅速な最善の活動ができるよう、反省点

を修正し今後の DMAT の活動に活かしたいと思います。

※「埼玉 SMART（スマート）」は、近年国内で発生している地震による建物崩壊や列車脱線事故などを教訓として、県内において同様の災害が発生した場合に迅速に対応するために、平成18年に創設されました。「埼玉 SMART（スマート）」とは、特別機動援助隊の英語名「Special Mobile Assistance Rescue Team」の頭文字を取ったものです。（埼玉 SMART ホームページより一部抜粋）



情報をホワイトボードでまとめている



院内災害対策本部の様子



出動用の資器材バッグを背負う隊員

基本理念：患者中心主義のもと安心で安全な満足度の高い医療の提供を行い、かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

使命：当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供します。

基本方針：上記の理念に従って患者中心主義（patient-centered）を貫き、あらゆる面で”患者さんにとって便利”であることを主眼とし、患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供致します。

患者さんの権利：当センターは、全ての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| (1) ひとりひとりが大切にされる権利 | (2) 安心で質の高い医療を受ける権利 |
| (3) ご自身の希望を述べる権利 | (4) 納得できるまで説明を聞く権利 |
| (5) 医療内容をご自身で決める権利 | (6) プライバシーが守られる権利 |

小児患者さんの権利：

- | |
|--|
| (1) ひとりの人間として尊重される権利 |
| (2) 質の高いおもいやりのある安心安全な医療を受ける権利 |
| (3) 年齢や理解度に応じた十分な説明と情報提供を受ける権利
*子どもさんとご家族が、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで説明を受ける権利 |
| (4) ご自身で希望を述べる権利
*子どもさんとご家族が、ご自身の精神的、文化的、社会的、倫理的な問題について要望する権利 |
| (5) 自己決定の権利
*子どもさんとご家族が、自らの意思に基づいて医療内容を選択あるいは拒否する権利 |
| (6) プライバシーを守られる権利 |

外来診察予約について

【外来予約センター】

午前 8 時 30 分～午後 5 時（日・祝日除く）

☎ 042-984-0474 ☎ 042-984-0475

☎ 042-984-0476（初診患者予約）

*がんセンター受診の際には紹介状をお持ちください。

*心臓病・脳卒中センターでは急を要する際、紹介状をお持ちで無い場合でも受診できますので、ご連絡ください。

*当院ホームページから外来診療（初診のみ）のインターネットでの予約を受け付けています。医療機関からはもちろん、患者さんや御家族がご自宅から予約可能です。ご活用ください！

詳しくは、埼玉医科大学国際医療センター HP をご覧ください。

<https://www2.saitama-med.ac.jp/simc/yoyaku/index.php>



新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願い

- ・入館の際はマスクを着用し手指消毒と検温をお願いします。再入館の際もお願いします。
- ・外来の待合では間隔を開けてお座りいただくように、椅子にご案内をおいています。
- ・外来患者さんの付き添いが必要な場合には原則1名でお願いします。
- ・入院患者さんの面会については、遠慮いただいております。

2021 年 8 月 20 日現在



埼玉医科大学国際医療センターニュース August 2021 第 51 号【院内配布用】

編集・発行	埼玉医科大学国際医療センター広報・HP 管理部会
	〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
	TEL：042-984-4128
発行責任者	佐伯 俊昭
発行日	令和 3 年 8 月 25 日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。